

我が街の記念碑

駒沢給水所

世田谷区



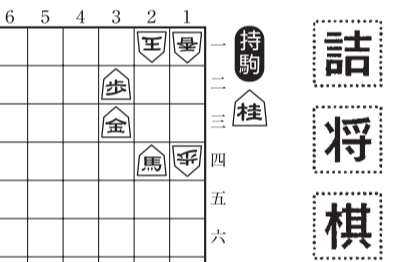
大正ロマンを感じさせる配水塔 (写真提供：駒沢給水塔風景資産保存会)

【世田谷・書記・近藤日登美通信員】駒沢給水所は、多摩川を水源とする砦下浄水所から送水された水をポンプで2基の配水塔に貯留、落差圧を強めて自然流下で渋谷地区方面に給水する構想で1922

と呼ばれるなど大正ロマンを感じさせる造りとなっており、江戸川乱歩が「怪人二十面相」のアジトのモデルにしたというもうなすげます。また、「世田谷百景」や「世田谷地域風景遺産」、「土木学会選奨土木遺産」として認定されています。

二十面相アジトのモデルに配水塔は地域の日印

現在、非常時の応急給水槽として活用されていますが、配水塔などの主要な構造物については耐震性が確認されたことから、補強・補修などを



持駒 桂 歩 金 馬 車 王 将
詰将棋
東電は福島第一原発の廃炉作業に、「特定技能」資格の外国人労働者を受け入れる方針だと発表した。原発作業員の被ばく線量は法律で定められた限度があることから、人手不足になることは想像がつかないが、果たして特定技能外国人労働者でよいのか。

言葉の壁は大きいのではないか。危険な廃炉作業で万が一の緊急事態のときに意思疎通が正確にできるのか。それに福島第一原発での被ばく線量を抱えて、母国の原発施設でさらに仕事が続けられるのだろうか。他の電力会社では特定技能外国人労働者の受け入れは検討していないという。それが賢明な判断だろうか。

平成最後の1年間は本当に忘れられない出来事。「痛い1年」となりました。春、肩から腕にかけて痛みが走り「五十肩が来たかな」と軽く考えていたら痛みが強くなってきて、病院に行ったら「頸椎症」と診断され、約



設備管理 田嶋隆人
1カ月間、首にコルセットをして仕事をしておりました。夏、梅雨の頃から左足の付け根から膝の裏側にかけてビリッ、ビリッと電流が走るような痛みが出て、初めは痛み止めで我慢出来ていたのですが、薬が効かなくなり、ついには激痛で動けなくなり、救急車で病院に運ばれ、診断結果は「椎間板ヘルニア」。至急手術が必要とのことでしたが手術の予定がいっぱいで20日間の手術待機入院となり、飲み薬、点滴、ブロック注射で痛

忘れえぬこと

痛みが首、腰、足、腹へ
1年で一生分経験
10連休明けの5月7日、「令和」最初の取引となる東京株式市場では、日経平均株価が約1カ月ぶりに一時2万2千円を割り込む事態に。前日のアジア諸国や米ニューヨーク株式市場の下落の影響を受けてのことだが、近年のテクノロジー進化が、市場変動性(ボラティリティ)の振れ幅に拍車をかけていることも一因としてあるようだ。

「立花隆にも、下積みの時代はあった。」
「週刊文春」の記者時代、まったく興味がなかったプロ野球関係の仕事だけはさせないでくれと宣言。しかし、「あいつは生意気だ」といつか見せしめにプロ野球の取材を1週間させられ、退社することを決意した。やりたくもないことを上司の命令というだけでやらなければならない事実には我慢ならなかったからだ。

今回紹介するのは、2016年公開の米映画『マネー・モンスタ』。メガホンを取ったジョディ・フォスターは、母国の原発施設でさらに仕事が続けられるのだろうか。他の電力会社では特定技能外国人労働者の受け入れは検討していないという。それが賢明な判断だろうか。

マネーモンスタ

監督 ジョディ・フォスター

金融市場システムへの「警告」

「羊たちの沈黙」で2度のアカデミー主演女優賞を受賞しているが、「リトルマンスター」などで監督としての評価も高い。

「ゼロ・クラビティ」のジョージ・クルーニーが演じるのは投資情報番組「マネー・モンスタ」の司会者リー・ゲイツ。巧みな話術で株価を予想したり視聴者への助言を行なう。「ワンダー」君は太陽のジュリア・ロバートス演じる番組ディレクターのパティの指示を無視して、アドリブだらけの軽快なトークとパフォーマンスでリーは生放送を盛り上げる。そんななか、拳銃を手にした男がスタジオに乱入。番組の情報に財産を全て失くした憤り、リーを人質に番組を乗っ取り立てこもる。さらに自分を陥れた株取引のからくりを生放送で暴くよう迫り…。まさに金融市場システムへの「警告」とも言える作品だ。

